

健康づくり計画【第4次】（平成28年度）の進捗状況について

平成29年2月14日
北広島市保健福祉計画検討委員会
地域福祉部会【資料2】

<平成28年12月末現在>

■健康づくりの推進

保健福祉部健康推進課

基本的な方向1 健康寿命の延伸（計画書 P22）

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況	計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
1	●平均寿命以前の要介護認定率	減少 平成25年度 【男性】 40～64歳 0.39% 65～79歳 6.77% 【女性】 40～64歳 0.40% 65～84歳 13.92%	減少 平成28年12月末現在 【男性】 40～64歳 0.36% 65～79歳 4.89% 【女性】 40～64歳 0.37% 65～84歳 10.56% ★65～86歳 12.16% (高齢者支援課)	平均寿命以前に要介護認定を受ける割合は、平成28年12月末現在では、平成25年度と比較し男女ともに減少している。今後も、下記の基本的な方向2～4の取組みにより、目標達成を目指す。	平均寿命（厚生労働省簡易生命表） 平成25年度 平成26年度 平成27年度 男性 80.21歳 80.50歳 80.79歳 女性 86.61歳 86.83歳 87.05歳	

基本的な方向2 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底（計画書 P23～36）

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況	計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
1	●がん死亡による死亡率 *標準化死亡率(SMR)の低下	減少 平成15～24年 【男性】 胃がん：85.3 大腸がん：107.7 肺がん：95.8 【女性】 胃がん：104.8 大腸がん：95.5 肺がん：75.8 乳がん：67.6 子宮がん：104.8	女性の肺・乳がん増加 その他は減少 平成18～27年 【男性】 胃がん：76.6 大腸がん：96.3 肺がん：91.5 【女性】 胃がん：101.0 大腸がん：88.6 肺がん：97.0 乳がん：78.1 子宮がん：81.9	●妊娠期の禁煙・無煙の知識を普及、体重増加や高血圧等に対する保健指導を行う。 (1) がん (2) 循環器疾患 (3) 糖尿病	●母子健康手帳交付時の保健指導 ・手帳交付数(28年12月末) 218冊 (届出217人) (27年度) 315冊 (届出309人) ・保健指導数:面接(28年12月末) 143件 (27年度) 199件 電話(28年12月末) 89件 (27年度) 128件 ●妊婦健康診査費用の公費助成 *妊婦一般健康診査14回、超音波検査6回、妊婦精密健康診査(必要時) ・一般健康診査、超音波検査数(28年12月末) 3,937件 (27年度) 6,029件 ・成人T細胞白血病抗体検査(がん予防)数(28年12月末) 203件 (27年度) 285件	<妊産婦期、幼・少年期(15歳未満)> 母子健康手帳交付やマタニティスクール等の各事業において、妊娠中の生活や出産、育児、栄養や飲酒、喫煙などについて知識の啓発を図ることができた。 妊婦健康診査費用の助成を行い、妊婦が必要な健診を受診することで、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病、がんの早期発見に役立っている。 生涯を通じて健やかに生活するためにも、妊婦や家族が安心して妊娠期を過ごし、妊娠中の健康管理ができ、生活習慣病に移行しないよう今後も引き続き実施する。
1	●がん検診の受診率	増加 平成25年度 胃がん：6.7% 大腸がん：10.9% 肺がん：8.5% 乳がん：19.8% 子宮がん：16.6%	横ばい 平成28年12月末現在 胃がん：5.6% 大腸がん：7.0% 肺がん：7.7% 乳がん：16.8% 子宮がん：14.1%	ライフステージ		

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況
			平成27年度 胃がん : 6.8% 大腸がん : 11.6% 肺がん : 8.8% 乳がん : 18.1% 子宮がん : 15.4%
	●脳血管疾患・虚血性心疾患の死亡率	減少 平成23年度 脳血管疾患死亡率 (人口10万対) 62.7 心疾患(高血圧性 除く)死亡率(人 口10万対) 128.8	—
	●高血圧症、脂質異常症罹患割合	減少 平成25年度 Ⅱ度高血圧以上の 者の割合 3.1% LDLコレステロール値が 160mg/dl以上の 者の割合 【男性】10.1% 【女性】13.5%	横ばい 平成28年12月末現在 Ⅱ度高血圧以上の 者の割合 4.1% LDLコレステロール値が 160mg/dl以上の 者の割合 【男性】 8.3% 【女性】13.4% 平成27年度 Ⅱ度高血圧以上の 者の割合 3.6% LDLコレステロール値が 160mg/dl以上の 者の割合 【男性】 9.7% 【女性】14.5%
	●メタリックソドロームの該当者および予備軍割合	減少 平成25年度 メタリックソドロームの 該当者割合16.4% メタリックソドローム予 備軍割合 11.7%	横ばい 平成28年12月末現在 メタリックソドロームの 該当者割合18.6% メタリックソドローム予 備軍割合 10.0% 平成27年度末現在 メタリックソドロームの 該当者割合17.3% メタリックソドローム予 備軍割合 10.6%

2
循環器疾患

計画の概要(行政の取組み)	平成28年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ	<ul style="list-style-type: none"> 子宮がん検診数(28年12月末)203件(27年度)285件 ●マタニティスクール 1]-14回/年5]-入 参加数:(28年12月末)31人(4コース分)(27年度)31人 内容:呼吸法と妊婦体操、母乳育児、妊娠中の栄養と食事、先輩ママ・赤ちゃんとの交流会、歯の健康等 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児健診 年36回 ●乳児健診 年36回 ●受診数(28年12月末)27回分 実702人/延719人 (受診率97.5%) 3ヶ月児 実259人/延272人 6ヶ月児 実207人/延209人 10ヶ月児 実236人/延238人 (27年度) 実547人/延1,050人 (受診率97.6%) ●栄養相談数(28年12月末)390人(27年度)457人 ●歯科相談数(28年12月末)241人(27年度)371人 ●1歳6ヶ月児健診 年12回 ●受診数(28年12月末)9回分 270人 (受診率97.7%) (27年度) 353人 (受診率92.1%) ●栄養相談数(28年12月末)259人(27年度)337人 ●歯科相談数(28年12月末)253人(27年度)338人 ●発達相談数(28年12月末)7人(27年度)7人 ●3歳児健診 年12回 ●受診数(28年12月末)9回分 266人 (受診率85.7%) (27年度) 368人 (受診率97.6%) ●栄養相談数(28年12月末)234人(27年度)366人 ●歯科相談数(28年12月末)234人 	

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況
3 糖尿病	●特定健診受診率・特定保健指導の実施率	60% 平成25年度 特定健診受診率 32.2% 特定保健指導実施率 64.7%	受診率 到達せず 特定保健指導 到達 平成28年12月末現在 特定健診受診率 26.9% 特定保健指導実施率 40.3% 平成27年度 特定健診受診率 35.2% 特定保健指導実施率 72.3%
	●治療中の血糖コントロール不良者の割合	減少 平成25年度 治療中のうち血糖コントロール不良者の割合 (HbA1c8.0%以上) 7.8%	横ばい 平成28年12月末現在 治療中のうち血糖コントロール不良者の割合 (HbA1c8.0%以上) 6.5% 平成27年度 治療中のうち血糖コントロール不良者の割合 (HbA1c8.0%以上) 7.3%
	●糖尿病有病者の割合	増加抑制 平成25年度 糖尿病有病者 (HbA1c6.5%以上) 割合7.8%	横ばい 平成28年12月末現在 糖尿病有病者 (HbA1c6.5%以上) 割合8.1% 平成27年度 糖尿病有病者 (HbA1c6.5%以上) 割合6.8%
以下余白			

計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等	
ライフステージ	<p>(27年度) 363人 ・発達相談数 (28年12月末) 15人 (27年度) 21人</p> <p>●保育所（保育課） ・身体計測（27～28年12月末） 全ての公立保育所で毎月実施</p>	<p>保育所においても、発育状況を把握し、傾向をとらえていく必要があることから、引き続き実施していく。</p>	
	<p>●小中学校にて食生活に関する指導やがん予防の教育・生活習慣病等の知識普及を図る。 (1 がん) (2 循環器疾患) (3 糖尿病)</p> <p>●学校健診を実施し、健康に関する指導を行う。 (2 循環器疾患) (3 糖尿病)</p> <p>●小中学校（学校教育課） ・小学校体育、中学校保健体育の保健分野において、がん予防を含めた生活習慣病などの病気の予防、喫煙や薬物乱用防止についての指導を実施（27～28年12月末） ・全ての小中学校において、食の全体計画、年間指導計画を作成し、各発達段階における食の指導を実施（27～28年12月末） ・全ての小中学校で学校保健計画を作成し、各種健診を行うとともに、健康の保持についての指導を実施（27～28年12月末）</p> <p>●子宮頸がん予防接種（中学1年生） (28年12月末) 0人 (27年度) 0人 *H25年6月、厚生労働省より、子宮頸がん予防ワクチンの接種勧奨差し控えの指示があり、現在も勧奨を差し控えている状況である。</p>	<p>学校では、発達段階に応じ、実生活に結びつくような指導を各教科と関連づけて行うことで、児童生徒の健康への関心を高め、個人生活における健康・安全に関する理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てることに大きく寄与している。</p>	
<青年期、壮年期、高齢期(15歳以上)>			
ライフステージ	<p>●健康教室等で、がんやがん発症予防のための生活習慣について市民に情報を提供する。 (1 がん)</p> <p>●生活習慣病等の病気や栄養・食生活についての正しい知識を普及し、健康を維持できるように支援</p>	<p>●健康教室 3回1コース ・参加数(28年12月末)実18人/延52人 (27年度) 実13人/延33人 ・内 容：健康講座、栄養講座、運動実技、個別相談</p> <p>●生活習慣病予防教室 3回1コース ・参加数(28年12月末)H29.2月実施予定 (27年度) 実14人/延39人 (2コース分)</p> <p>・テーマ：LDLコレステロール</p> <p>●生活習慣病予防講演会 年2回 ・参加数</p>	<p>各事業の実施により、生活習慣病予防や脳卒中、心臓病、腎不全などの健康障害予防の知識啓発と意識づけや、自身の健診データから自分の体の状態を確認してもらうことができた。 生活習慣病重症化予防と健康障害予防のため、教室や講演会等の実施方法を検討しながら引き続き実施する。</p>

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況

計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
<p>する。 (3 糖尿病)</p>	<p>(28年12月末) 「あなたの血糖値はどのくらいですか」 51人</p> <p>(27年度) 「動脈硬化の病態と治療～虚血性心疾患 を中心として～」 69人 「腎臓の仕組みとCKD(慢性腎臓病)」 70人</p> <p>●出前健康講座・健康教育（成人） (28年12月末) 5回 ・参加数：85人 ・内容：メタボリックシンドローム・体脂肪測定、上手な健診の受け方、生活習慣病予防（高血圧）、栄養講座等</p> <p>(27年度) 18回 ・参加数：320人 ・内容：口腔ケア、うつ病予防、生活習慣病（がん・高血圧・糖尿病）、女性の健康、働き盛りの健康づくり、上手な検診の受け方、栄養講座、健康チェック、健診結果の説明等</p>	
<p>ライフステージ</p> <p>●がん検診の受診率を高めるための周知を強化する。 (1 がん)</p> <p>●検診機関や医療機関における検診が効果的に実施できるよう連携を図る。 (1 がん)</p> <p>●最新のがん対策について情報を収集し、有効な検診の導入を検討する。 (1 がん)</p> <p>●乳幼児健診時に女性のがん予防の知識の普及に努める。 (1 がん)</p>	<p>●各種検診の周知と実施 ・周知方法：通年の周知方法のほかに、市広報の特集で検診の大切さを啓発</p> <p>・胃がん検診受診数 (28年12月末) 1,183人(受診率5.6%) (27年度) 1,443人(受診率6.8%)</p> <p>・大腸がん検診受診数 (28年12月末) 1,464人(受診率7.0%) (27年度) 2,418人(受診率11.6%)</p> <p>・肺がん検診受診数 (28年12月末) 1,620人(受診率7.7%) (27年度) 1,829人(受診率8.8%)</p> <p>・前立腺がん検診受診数 (28年12月末) 248人(受診率7.5%) (27年度) 323人(受診率8.0%)</p> <p>・子宮がん検診受診数 (28年12月末) 884人(受診率14.1%) (27年度) 1,162人(受診率15.4%)</p>	<p>がん検診受診率は全国、全道と比べて低い。今後もがん予防およびがんの早期発見のためPR活動を積極的に行うと共に、がん検診実施機関と連携を取りながら受診率向上に努める。</p>

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況

計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん検診受診数 (28年12月末) 980人(受診率16.8%) (27年度) 1,262人(受診率18.1%) ・肝炎ウイルス検診受診数 (28年12月末) 567人 (27年度) 1,525人 ・エキノкокクス症検診受診数 (28年12月末) 140人 (27年度) 179人 ・骨粗しょう症検診受診数 (28年12月末) 98人 (27年度) 161人 *コールリコール実施 <ul style="list-style-type: none"> ハガキ発送 (28年12月末) 555人 (27年度) 2,083人 クーポン配布 (28年12月末) 72人 (27年度) 222人 ●乳幼児健診 <ul style="list-style-type: none"> ・女性のがん検診受診勧奨パンフレットを会場にて配布 (28年12月末) 270人 (27年度) 353人 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診の受診率向上に努める。 (2 循環器疾患) (3 糖尿病) 	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診受診数(目標50%) (28年12月末) 3,010人(受診率26.9%) (27年度) 3,584人(受診率35.2%) ●眼底検査数 (28年12月末) 1,275人 (27年度) 1,690人 ●特定健康診査二次健診数 (28年12月末) 29人 (27年度) 53人 ●後期高齢者健診受診数（保検年金課） (28年12月末) 648人（11月までの受診） (27年度) 873人（受診率12.7%） ●循環器健診（生活保護）受診数 (28年12月末) 3人（受診率0.6%） (27年度) 3人（受診率0.6%） ●30歳代健診（国保以外）受診数 (28年12月末) 20人（受診率2.4%） (27年度) 26人（受診率2.6%） ●国保30歳代健診受診数（保険年金課） (28年12月末) 74人 (27年度) 128人

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況

計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ	<ul style="list-style-type: none"> ●がん検診・結核検診精密検査の受診勧奨数 (28年12月末) 85件 (27年度) 81件 	<p>特定健診を受けて、結果が受診勧奨レベルの方に保健指導を行うことで、健康障害発症予防、重症化予防に取り組んでいる。</p> <p>保健師・管理栄養士による家庭訪問を積極的に実施し、多くの方に保健指導を実施することができた。</p> <p>生活習慣病重症化予防と脳卒中、心臓病、腎不全などの健康障害予防のため引き続き実施する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診の結果説明会の充実を図り、継続管理を行う。 (2 循環器疾患) (3 糖尿病) ●特定保健指導の実施率の向上を図り、生活習慣改善の指導を行う。 (2 循環器疾患) (3 糖尿病) ●特定健診で把握されたメタボリックシンドローム該当者以外の予防が必要な方に保健指導を行う。 (2 循環器疾患) ●高血圧対策、減塩対策を行う。 (2 循環器疾患) ●血糖値の高値者には早期に医療機関の受診を勧める。 (3 糖尿病) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診結果説明会 ・利用数(28年12月末) 91人(46回分) (27年度) 179人(69回分) ●特定保健指導実施数(目標48.0%) (28年12月末) 81人(実施率40.3%) (27年度) 222人(実施率72.3%) ●訪問指導 ・訪問数 (28年12月末) 実225人/延314人 (27年度) 実391人/延548人 ●成人健康相談 ・実施回数(28年12月末) 88回 (27年度) 106回 ・相談数(訪問含) (28年12月末) 実211人/延261人 (27年度末) 実246人/延297人 ●血糖値の高値者への早期受診勧奨数 (28年12月末) 30人 (27年度末) 51人 	<p>健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている「健康づくり推進員」(市民ボランティア)の活動を通して、健康に関する情報を市民に周知することができた。</p> <p>今後も、市民が健康づくりを実践できるよう取り組んでいく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●健康情報展 ・内容：測定コーナー、体験コーナー、展示コーナー、市民ウォーキング受付、健康クイズラリー ・来所数(28年12月末) 約900人 (27年度) 約900人 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●市民と協働で健診の受診や循環器疾患や糖尿病予防の啓発を推進する。 (2 循環器疾患) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●健康づくり推進員養成・継続研修 ・健康づくり推進員登録数 (28年12月末) 55人 (27年度) 56人 	

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況

計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
(3 糖尿病)	<ul style="list-style-type: none"> 養成講座（28年12月末） 7人 （27年度） 15人 内容：健康講話、栄養講話、運動実技、介護予防体験、市内施設見学 継続研修 （28年12月末） 実36人/延 87人 （27年度） 実47人/延106人 内容 （28年12月末） 養成講座と合同、正しいラジオ体操の方法について （27年度） 養成講座と合同、笑いヨガ体験 ●その他 パンフレット配布、各種サービス情報の提供 健康手帳配布（希望者） （28年12月末） 3冊 （27年度） 35冊 	

ライフステージ

基本的な方向3 社会生活を営むために必要な機能の維持および向上（計画書 P37～43）

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況
1 次世代の健康	●いつも朝食をとる子どもの割合	増加 平成25年度 いつも朝食をとる子どもの割合 【小学4年生】 96.3% 【中学1年生】 91.6% (きたひろしま生活シート)	— 〈参考〉平成28年度 いつも朝食をとる子どもの割合 【小学2・5年生】 84.6% 【中学2年生】 85.3% (第2次食育推進計画アンケート)
	●低出生体重児出生数	減少 平成23年度 全出生数の低出生体重児の割合 9.3%	—
以下余白			

計画の概要（行政の取組み）	平成28年度の取組み	評価と課題等
〈妊産婦期、幼・少年期(15歳未満)〉		
<ul style="list-style-type: none"> ●妊産婦や乳幼児の発育状態に応じた栄養指導の充実を図る。 (1 次世代の健康) ●乳幼児健診や育児相談体制の充実を図る。 (1 次世代の健康) 	<p style="text-align: center;">再掲につき省略</p> <ul style="list-style-type: none"> ●母子健康手帳交付時の保健指導 ●妊婦健康診査費用の公費助成 ●マタニティスクール <p>●マタニティスクール両親コース 年4回 ・参加数（28年12月末）56人（3回分） （27年度） 54人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：沐浴実習、妊婦体験、子育て体験談、着替え・おむつ替え実習 ●胆道閉鎖症スクリーニング検査 *赤ちゃん訪問や乳児健診等で母子健康手帳の便色カードを活用 ・赤ちゃん訪問数（28年12月末）251件 （27年度） 290件 ・乳児健診(2～5ヶ月児)受診数 （28年12月末）272件 	<p>妊婦の栄養摂取や体重増加の状況を確認し、必要時個別の保健指導を実施するなど、早期からの食育に取り組み、妊娠中に生じやすい異常の予防と低体重児の出生の予防を図っている。</p> <p>乳幼児期の食生活は、子どもの健やかな成長と将来の健康づくりにとって需要であることから、食生活の重要性を啓発し、継続的に食育に取り組んでいく。</p> <p>特に「早寝、早起き、朝ご飯」を継続的に推進し、朝食の重要性を意識づけしていく。</p>

ライフステージ

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況

計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ	<p>（27年度） 334件</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あそび教室（1歳6か月児健康診査事後集団指導） 年24回 ・参加数(28年12月末)実21人/延154人（18回分） <p>（27年度） 実23人/延179人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予防接種 ・四種混合接種数(28年12月末)978件 （27年度） 1,253件 ・三種混合接種数(28年12月末)602件 （27年度） 21件 ・二種混合接種数(28年12月末)258件 （27年度） 602件 ・BCG接種数（28年12月末)233件 （27年度） 315件 ・ポリオ接種数（28年12月末） 34件 （27年度） 69件 ・麻しん・風しん接種数 （28年12月末)526件 （27年度） 777件 ・ヒブ接種数（28年12月末)950件 （27年度） 1,270件 ・小児用肺炎球菌接種数 （28年12月末)956件 （27年度） 1,269件 ・水痘接種数（28年12月末)449件 （27年度） 706件 ・インフルエンザ接種数 （障がい児）（28年12月末） 77件 （27年度） 72件 （障がい者）（28年12月末） 30件 （27年度） 22件 （高齢者）（28年12月末)6,808件 （27年度） 6,766件 <p>*任意の予防接種として障がい児・者も対象 に接種費用の助成を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人用肺炎球菌接種数 （障がい者）（28年12月末） 0件 （27年度） 3件 （高齢者）（28年12月末)1,304件 （27年度） 1,382件 ●出前健康講座・健康教育（母子） （28年12月末） 12回 	

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況

計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ	<ul style="list-style-type: none"> 参加数：169人 内容：乳幼児期の生活リズム、乳児のお世話、成長ホルモン、こどもの言葉と脳、簡単手作りおやつ、こどもの便秘と食物繊維、むし歯予防、感染症、イヤイヤ期の過ごし方、栄養講座等 (27年度) 10回 参加数：81人 内容：子どもの成長とデジタル家電、子どもの歯、食物アレルギー、夏の感染症と生活リズム、イヤイヤ期ののりきり方、乳児のお世話、幼児期の習癖等 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所にて食育目標を作成し、食育の啓発に努め、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣が身につけられるよう支援する。 (1 次世代の健康) 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所（保育課） ・全ての公立保育所で食育の啓発を実施（27～28年12月末） <p>保育所等においても、乳幼児期に規則正しい生活、バランスのとれた食生活を身につけることは、適切な生活習慣や豊かな人間性を育成することに繋がるため、食育を引き続き実施する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●学校で食に関する指導計画や運動計画を作成し、健康づくりに活用する。 (1 次世代の健康) 	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学校（学校教育課） ・全ての小中学校で、食に関する指導の全体計画、学校保健計画を作成し、各発達段階に応じた指導を実施（27～28年12月末） <p>学校においては、各発達段階で、系統性をもって指導することで、児童生徒の食育に関する関心や、健康の保持についての関心が高まった。</p>

2 高齢者の健康		
●新規介護認定者数	増加抑制 平成25年度 新規認定者の出現率 4.0%	減少 平成28年12月末現在 新規認定者の出現率 2.5% (高齢者支援課)
以下余白		

＜青年期、壮年期(65歳未満)＞			
ライフステージ	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣や健康管理について市民に情報を提供する。 (2 高齢者の健康) ●個々に対応した健康づくりに関する指導・助言を行う。 (2 高齢者の健康) 	<p style="text-align: center;">再掲につき省略</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康教室 ●生活習慣病予防教室 ●生活習慣病予防講演会 ●出前健康講座 ●特定健診 ●後期高齢者健診 ●30歳代健診 ●健診結果説明会 ●特定保健指導 ●訪問指導 ●成人健康相談 	<p>生活習慣病重症化予防と健康障害予防は、要介護状態とならないための健康づくりでもあるため、実施方法を検討しながら引き続き実施する。</p>

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況

計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
＜高齢期(65歳以上)＞		
<p>●適切な栄養や運動についての知識を普及する。 (2 高齢者の健康)</p> <p>●各地区で介護予防事業を実施し、介護予防を推進する。 (2 高齢者の健康)</p> <p>●認知症予防や転倒予防、ロコモティブシンドロームの知識普及を図る。 (2 高齢者の健康)</p>	<p>●健診事後指導数（高齢者支援課） (28年12月末) 実5人 (27年度) 実5人</p> <p>●栄養指導数 (28年12月末) 実18人/延23人 (27年度) 実23人/延25人</p> <p>●健康増進講演会 (28年12月末) 2回 参加数：158人 (27年度) 1回 参加数：550人</p> <p>●出前健康講座 (28年12月末) 17回 参加数：延388人 (27年度) 24回 参加数：延527人</p> <p>●脳の健康教室 10回1コース (28年12月末) 参加数：実17人 (27年度) 参加数：実19人</p> <p>●生活講座 5回1コース (28年12月末) 参加数：実11人 (27年度) 参加数：実15人</p> <p>●いきいき百歳体操リーダー養成講座 (28年12月末) 3回1コース 2回 参加数：実25人 (27年度) 4回1コース 1回 参加数：実21人</p>	<p>各教室・講座等は、主に認知症予防や転倒予防を目的に行っているが、プログラムに、栄養や口腔ケアの講話等も盛り込みながら、幅広く介護予防を啓発している。認知症は、特に市民の関心が高いことから、引き続き、講演会など認知症予防に資する取り組みを行っていく。</p> <p>課題としては、多くの市民が参加し、かつ日常生活に取り入れて継続できるようにすることである。</p> <p>そのために、地域に介護予防を普及啓発する担い手（市民）である介護予防サポーター育成事業を進めながら、身近な地域で活動が継続されるよう、市民の自主的活動への支援を強化していく。また、平成29年度から実施する介護予防・日常生活支援総合事業では、これらの事業を特定の対象者に限定せず、65歳以上の一般市民を対象に行う事業（一般介護予防事業）として、一部内容を見直し実施する。</p>

基本的な方向4 生活習慣および社会環境の改善（計画書 P44～63）

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況
1 栄養・食事	●妊娠届出時のやせの割合	減少 平成25年度 妊娠届出時のやせの割合（BMI18.5未満） 19.8%	減少 平成27年度 妊娠届出時のやせの割合（BMI18.5未満） 16.8%
	●肥満者の割合	減少 平成25年度 肥満者の割合（BMI25以上） 【男性】 28.6% 【女性】 20.9%	男性 増加 平成28年12月末現在 肥満者の割合（BMI25以上） 【男性】 32.5% 【女性】 20.5%

計画の概要（行政の取組み）	平成28年度の取組み	評価と課題等
＜妊産婦期、幼・少年期(15歳未満)＞		
<p>●妊娠期の栄養について指導を行う。心の健康づくりを支援する。アルコールやたばこの害に関する情報を提供する。 (1 栄養・食事) (3 休養・こころの健康) (4 飲酒) (5 喫煙)</p>	<p>再掲につき省略</p> <p>●母子健康手帳交付時の保健指導</p> <p>●マタニティスクール</p> <p>●乳幼児健診</p> <p>●保育所による食育の啓発</p> <p>●ハイリスク妊婦把握・支援事業 *全妊婦を対象としたアンケートと保健師による面接(または電話) ・アンケート実施数(28年12月末)244件 (27年度) 341件</p>	<p>各事業において、栄養や妊娠期・授乳期の飲酒や喫煙の胎児・乳児に与える害について知識の啓発を行った。また、妊娠中から子育て中の保護者の学習や交流の機会を提供した。</p> <p>妊婦のやせの減少、喫煙率・飲酒率の減少に向け、体へ及ぼす影響についての普及啓発を継続的に実施していく。</p> <p>ハイリスク妊婦把握・支援事業等にて、妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握し、妊婦の不安軽減や早期支援を行うことができた。今後も引き続き</p>

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況
1	栄養・食事		平成27年度肥満者の割合 (BMI25以上) 【男性】30.2% 【女性】20.2%
		●主食、主菜、副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の者の割合	増加 平成26年度 主食、主菜、副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の者の割合 74.1% 【ほぼ毎日】46.9% 【週に4~5日】23.1% (第2次食育推進計画アンケート)
2	身体活動・運動	●運動習慣者の割合	10%増加 平成26年度 運動習慣者の割合 36.8%
3	休養・こころの健康	●睡眠による休養を十分に取れていない者の割合	減少 平成26年度 睡眠による休養を十分に取れていない者の割合 22.0%
		●ストレスを誰にも相談できない・しない者の割合	減少 平成26年度 ストレスを誰にも相談できない・しない者の割合 10.2%
		●ストレスの相談先がわからない者の割合	減少 平成26年度 ストレスの相談先がわからない者の割合 2.0%
		●自殺者数	減少 平成23年度 自殺者数(人口10万人あたり) 19.8

計画の概要(行政の取組み)	平成28年度までの取組み	評価と課題等	
ライフステージ	●授乳期・離乳食期・幼児食期へとスムーズに移行できるように支援する。 (1 栄養・食事)	●母子保健推進員活動 ・家庭訪問数(妊婦) (28年12月末)実166件/延301件 (27年度) 実207件/延348件 (乳児) (28年12月末)実169件/延277件 (27年度) 実245件/延345件 ・育児交流会(市と協働) 1コース2回/年5]入 参加数(28年12月末)実68組/延110組(4回分) (27年度) 実61組/延107組 内容: 離乳食講話、むし歯予防講話、救急救命講座、手遊び、交流会 等	き実施する。 乳幼児期においても各事業の実施により、子育てが始まって間もない保護者への支援ができた。 妊娠期から乳幼児期の相談支援が一貫した体制で行えるよう、また保護者が安心して育児を行えるよう、今後も継続して実施する。
	●妊産婦が孤立しないように支援する。 (3 休養・こころの健康)	●赤ちゃん訪問 (28年12月末) 251件 うち 出生体重2,000g未満 : 3件 2,000~2,499g : 13件 (27年度) 290件 うち 出生体重2,000g未満 : 5件 2,000~2,499g : 17件	
	●乳幼児健診や教室等にて個々に応じた栄養相談、親子遊びや運動などの大切さについて指導・助言を行う。 (2 身体活動・運動)	●ふたご・みつごの育児交流会 (H28年度で終了) ・参加数(28年12月末) 2回 3組 (27年度) 3回 6組	
	●乳児健診や育児相談体制の充実を図る。 (3 休養・こころの健康)	●元気フェスティバルでの赤ちゃんゲーム(市と協働) ・参加数(28年12月末) 46組 (27年度) 44組	乳幼児期からからだを動かすことは、健康なからだづくりに必要な運動習慣を身に付けることに繋がるため、遊びの紹介やからだを動かすことの楽しさを知らせながら、引き続き、子育て支援の充実を図る。
	●母乳とアルコールの関係について情報を提供する。 (4 飲酒)	●保育所(保育課) ・遊びの紹介: 全ての公立保育所で実施(27~28年12月末)	
	●子どもや保護者の悩みなどに対して相談を行う。 (3 休養・こころの健康)	●仲間づくり支援(社会教育課) ・ホームページを活用して社会教育団体として登録している育児サークルを紹介(27~28年12月末)(健康推進課) ・マタニティスクールクラス会(市主催分)(28年12月末) 4回 参加数: 18組 (27年度) 5回 参加数: 31組 ・マタニティスクールクラス会自主開催支援(同クラス会自主開催のうち1年間に	参加者同士の交流の機会をつくり、地域子育て支援センター利用のきっかけづくりも行っている。 子育て親子が集まりやすい子育て支援センターに子育て支援コーディネーターを配置したことにより、子育て支援センターの相談件数は増加している。引き続き相談の充実を図る。

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況
4	●妊娠中の飲酒率	なくす 平成25年度 妊娠届出時の飲酒率 1.4%	微増 平成27年度 妊娠届出時の飲酒率 2.9%
	●生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	減少 平成26年度 【男性】1日に純アルコールの摂取量が40g以上の者の割合 12.5% 【女性】1日に純アルコールの摂取量が20g以上の者の割合 8.6%	—
5	●成人の喫煙率	減少 平成26年度 成人の喫煙率 15.9%	—
	●妊娠届出時の喫煙率	減少 平成25年度 妊娠届出時の喫煙率 7.3%	減少 平成27年度 妊娠届出時の喫煙率 5.3%
6	●幼児のう歯罹患率	減少 平成25年度 3歳児のう歯罹患率 16.44%	微増 平成27年度 3歳児のう歯罹患率 19.0%
	●学齢期のう歯本数	減少 平成26年度 12歳児の永久歯の一人あたりのう歯本数(中学1年生) 2.1本	—
	●60歳代で24本以上の自分の歯を有する者の割合	増加 平成26年度 60歳代で自分の歯が24本以上ある者の割合 42.3%	—
以下余白			

計画の概要(行政の取組み)	平成28年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ	<p>●子育て支援センター事業(子育て担当)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援コーディネーター専任職員配置(27年度～) 子育て支援事業の利用にあたっての相談に対応 相談件数(28年12月末) 287件(27年度) 415件 子育てサイトの開設(平成29年1月予定) 子育てガイドの発行(平成28年3月) 子育て講座実施(28年12月末) 20回 参加数:407人(27年度) 36回 参加数:621人 うち 遊びに関する子育て講座14回 参加数:262人 みんなの広場、出前みんなの広場実施(27～28年12月末) 	<p>学校においては、体力テストの結果に基づき一校一実践の取組や、体育授業における運動量の確保、効果的な身体の動かし方の指導などの指導方法を工夫することで、児童生徒の体育や運動への関心や意欲を高めることに寄与した。 発達段階に応じて、道徳などに関連付けながら健康や性教育、命の尊さ等についての指導を系統性を持って指導することで、児童生徒の理解を深めることに寄与した。</p>
	<p>●保育所・学校にて子どもや保護者へ食育を推進する。 (1 栄養・食事)</p> <p>●学校で体育や部活動の充実を図り、健康・体力づくりを推進する。アルコールやたばこに関する教育を行う。 (2 身体活動・運動) (4 飲酒) (5 喫煙)</p> <p>●性教育などの教育活動を通し、生命の大切さや思いやりの心の習得を図る。 (3 休養・こころの健康)</p>	

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況

計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての小中学校で、性教育の学年別指導計画を作成し、道徳などの内容と関連付けながら発達段階に応じた指導を実施 (27～28年12月末) ●思春期講座の実施 (千歳保健所) ・高校生対象(28年12月末)1回実280人 (27年度) 1回実300人 (健康推進課) ・障がい者対象(28年12月末)1回実10人 (27年度) 1回実 8人 	<p>乳幼児健診やフッ化物塗布事業等でむし歯予防について啓発し、歯と口腔の健康が維持できるよう努めている。</p> <p>乳幼児期からう歯予防を習慣づけることは、学齢期以降のう歯の減少に繋がるため、引き続き実施する。 学校においては、全児童生徒を対象とした歯科専門医による歯科健診を実施することで、児童生徒の口腔衛生の保持に寄与した。 また、永久歯のむし歯を予防するため、平成27年度に北広島市フッ化物洗口事業実施協議会を立ち上げ、実施体制や実施計画を検討し、平成28年度よりフッ化物洗口を導入することができた。</p> <p>乳児健康診査、1歳6ヶ月児健康診査において、未受診者確認に努めており、今後も未受診者対策を実施し、状況把握に努める。また、関係機関と連携しながら育児支援を実施することができた。赤ちゃん訪問等で把握する要支援ケースに適切な支援ができるよう、今後も引き続き実施する。 養育、発達発育等の要因で、児童虐待に関する相談件数は増加している。引き続き相談支援の充実を図る。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●ライフサイクルに応じた歯科保健指導を行う。 (6 歯・口腔の健康) ●保育所・学校では歯科健診を実施し、う歯予防に努め、う歯のある児童・生徒に受診を促す。 (6 歯・口腔の健康) ●子どもの歯と口腔の健康を保持するため、幼児期のフッ素塗布に加え、保育所、小学校でフッ化物洗口を実施する。 (6 歯・口腔の健康) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●フッ化物塗布 年12回 ・実施数(28年12月末)実80人/延108人 (9回分) (27年度) 実220人/延298人 ●保育所（保育課） ・歯科健診：全ての公立保育所で年1回実施 (27～28年12月末) ●小中学校（学校教育課） ・全ての小中学校で学校保健計画を作成し、全児童生徒を対象に歯科専門医による歯科健診を実施（27～28年12月末） ●フッ化物洗口（28年度～） ・全ての公立保育所の希望者に実施(4歳児以上) ・全ての小学校の希望者に実施 ●北広島市フッ化物洗口事業実施協議会 ・構成員：歯科医師・小児科医師・薬剤師・小学校校長会・小学校PTA連合会・保育園保護者等 (28年12月末) 1回 (27年度) 2回 	
<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関と連携を図り、児童虐待対策を行う。 (3 休養・こころの健康) 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども虐待予防ケアマネジメント事業 ・虐待要因チェックによるスクリーニング数 (28年12月末) 実249件 (27年度末) 実287件 ●家庭児童相談室運営事業（児童家庭課） ・相談件数（28年12月末）延2,914件 (27年度) 延3,150件 	

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況

計画の概要（行政の取り組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
<青年期、壮年期、高齢期(15歳以上)>		
ライフステージ	<p>再掲につき省略</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康教室 ●生活習慣病予防教室 ●生活習慣病予防講演会 ●出前健康講座 ●後期高齢者健診 ●30歳代健診 ●健診結果説明会 ●特定保健指導 ●成人健康相談 ●健康情報展 ●健康づくり推進員養成 	<p>規則正しい食生活が正しい生活習慣の確立につながることから、3食規則正しく、バランス良く食べることの重要性を周知し、行動変容につながるための取組を継続する。</p> <p>健康的な生活を実践したり、市の健康に関する事業や情報を提供するボランティアの育成を推進していく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●健康教室や健康相談にて生活習慣改善や食生活の指導、多量飲酒やたばこ等の害に関する情報を提供する。 (1 栄養・食事) (4 飲酒) (5 喫煙) ●バランスのとれた食事ができるよう支援する。 (1 栄養・食事) ●広報紙等で正しい食生活、アルコールが及ぼす健康への影響、禁煙について知識を普及する。 (1 栄養・食事) (4 飲酒) (5 喫煙) ●市民と協働で適切な栄養摂取や運動を推進する。 (1 栄養・食事) (2 身体活動・運動) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の分煙化・禁煙化 ・ホームページに空気のおいしい施設紹介（北海道・千歳保健所） 北広島市内登録（飲食店や学校、理美容室等） (28年12月末) 27施設 飲食店：5、学校等：2、医療機関・社会福祉施設等：16、体育施設・娯楽施設：2、社会・文化施設：1、小売業・サービス業等：1 (27年度) 24施設 ●未成年喫煙・薬物防止教育（千歳保健所） (28年12月末) 東部小6年生 児童68名、担任2名、校長1名 (27年度) 東部小6年生 緑ヶ丘小4年生 ●情報提供 ・健康情報展、各講演会等でパンフレット配布、ポスター掲示 	<p>ウォーキングマップの周知をはかりながら、身体活動の基本である“歩く”ことを通して、運動のきっかけづくりができた。今後も健康づくり推進員と協働して、市民が“歩く”機会をつくっていく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●身近で安全なウォーキングを推進する。 (2 身体活動・運動) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ウォーキングマップの活用 ・市内公共施設等にて配布 (27～28年12月末) ・市民ウォーキング（健康づくり推進員と協働）の開催

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況	計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
				<p>●体育館でスポーツプログラムの提供やトレーニング指導、相談事業等の充実を図る。 (2 身体活動・運動)</p> <p>●健康で生きがいのあるスポーツ活動を推進する。 (2 身体活動・運動)</p> <p>●運動教室等の充実を図る。 (2 身体活動・運動)</p> <p>●高齢者のための健康運動教室や相談等を各地区単位で行う。 (1 栄養・食事) (2 身体活動・運動)</p> <p>●運動機能低下の高齢者に対して、運動機能向上教室を実施する。 (2 身体活動・運動)</p> <p>●介護予防のための運動や体力づくりを行う。</p>	<p>(28年12月末) 2回 131人 (27年度) 2回 196人</p> <p>●健康管理プログラムによる体力づくりへの助言（随時）（総合体育館、体育協会）</p> <p>●きたひろしま30kmロードレース ・参加数(28年12月末) 1,348人 (27年度) 1,362人</p> <p>●市民スポーツ活動推進事業 ・スーパードッジボール大会 参加数(28年12月末)24チーム/290人 (27年度) 21チーム/253人 ・いちののジャンプ大会 参加数(28年12月末)33チーム/386人 (27年度) 30チーム/335人 ・スナッグゴルフ大会 参加数(28年12月末) 23人 (27年度) 22人 ・30キロ歩ける会 参加数(28年12月末)141人 (27年度) 138人 ・インドア子ども相撲大会 (28年12月末)2月実施予定 (27年度) 150人</p> <p>●介護予防事業（高齢者支援センター実施分） ※前述に記載した事業は省略 ・西の里「コグニサイズ」 (28年12月末)8回 参加数：延165人 (27年度) 9回 参加数：延214人 ・大曲・西部「ふまねっと」 (28年12月末)12回 参加数：延410人 (27年度) 16回 参加数：延434人 ・東部・団地「元気ぴんぴん体操」 (28年12月末)27回 参加数：延395人 (27年度) 36回 参加数：延468人</p> <p>●健康運動教室（一次予防事業） (28年12月末)10回1コース 3回 参加数：実32人 (27年度) 10回1コース 5回 参加数：実41人</p> <p>●高齢者健康教室 ・水中運動教室（二次予防事業） (28年12月末)12回1コース 2回</p>	<p>現在のウォーキングマップは、改定から約3年が経過したため、平成29年度はコース内容について見直しを行う。</p> <p>また、健康情報展では健康づくりのための運動や食について、知識普及や体験を行った。来所者のアンケートから健康づくりの参考になったとの評価を得ており、引き続き実施する。</p> <p>社会教育事業として市民スポーツ活動推進事業等を各種実施した。引き続き実施し、働き盛りの忙しい年代でも実践できるような運動に関する知識や場所・施設の情報提供などを行い、運動しやすい環境づくりを推進していく。</p>

ライフステージ

No.	指標	計画目標と現状	進捗状況	計画の概要（行政の取組み）	平成28年度までの取組み	評価と課題等
				<p>ライフステージ</p> <p>(2 身体活動・運動) ●社会参加促進のために生きがい活動の支援・活動の充実を図る。 (2 身体活動・運動)</p> <p>●こころの健康について情報を提供する。 (3 休養・こころの健康)</p> <p>●こころとからだの健康相談を行う。 (3 休養・こころの健康)</p> <p>●うつ病などの精神疾患の正しい知識と適切な治療に関する情報を提供する。 (3 休養・こころの健康)</p> <p>●アルコール依存症に関する知識、情報を提供する。 (4 飲酒)</p> <p>●アルコールの健康相談について情報を提供する。 (4 飲酒)</p> <p>●「8020」「6024」運動を推進する。 (6 歯・口腔の健康)</p>	<p>(27年度) 参加数：実36人 12回1コース 3回 参加数：実61人</p> <p>・健康運動教室（二次予防事業分） (28年12月末) 10回1コース 3回 参加数：実6人</p> <p>(27年度) 10回1コース 5回 参加数：実27人</p> <p>●機能訓練教室（二次予防事業） (28年12月末) 参加数：実13人/延346人 (27年度) 参加数：実17人/延503人</p> <p>●訪問指導事業（二次予防事業） (28年12月末) 参加数：0人 (27年度) 参加数：0人</p> <p>●口腔ケア事業（二次予防事業） (28年12月末) 参加数：0人 (27年度) 参加数：0人</p> <p>●生きがいデイサービス (28年12月末) 利用者数：実35人 (27年度) 利用者数：実40人</p> <hr/> <p>●こころの健康講座 1回 (28年12月末) 「大人の発達障がいとこころの病気」 参加数：112人 (27年度) 「不眠で気づく心の病気」参加数：61人</p> <p>●こころの健康相談（千歳保健所・北広島市分） 2回 ・相談数（28年12月末） 1人 （27年度） 1人</p> <p>●訪問指導 (28年12月末) 実9人/延16人 (27年度) 実17人/延39人</p>	<p>うつ病・自殺予防を目的としたこころの健康講座の開催や各事業を活用して、障がいや病気に関する知識の普及啓発を図ることができた。引き続き実施し、こころの病気につながらないように啓発していく。</p>